

14. 市長の意見等を勘案し、
準備書から修正した事項

14. 市長の意見等を勘案し、準備書から修正した事項

環境影響評価準備書に対して示された市長意見（仙台市公告第 653 号）及び仙台市環境影響評価審査会での審査内容等を踏まえ、環境影響評価準備書から修正した事項は以下に示すとおりである。

なお、植物、動物に関しては、準備書作成協議後に公表された『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）についても注目すべき種の選定基準に加えた。

表 14-1(1) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
1	1.3. 事業予定地の位置		1-1	1-1	8 行目以降	本事業の施行区域の住居表示を追記した。
2	1.6.8. 造成計画		1-42	1-42	図 1.6-13	切土部が分かるよう、拡大図を追加した。
3	1.6.9. 防災計画 (3) 仮設調整池計画		—	1-46	図 1.6-15(2)	仮設調整池の平面図及び断面図を追加した。
4	1.8 環境の保全・創造等に係る方針		1-60	1-61	表 1.8-1(1)	土地利用計画を設計するに当たっての環境の保全・創造等に係る方針に項目を追加した。
5	4.1. 環境影響評価項目の選定の変更		4-1	4-1	12 行目	環境影響要因の記述の間違いを修正した。
6			4-1	4-1	21 行目以降	準備書で予測評価を追加して実施している項目として「残土」が抜けていたので追記した。
7			4-3	4-3	表 4.1-2 の工事による影響 の残土の欄	
8	6.1.1. 大気環境	(2) 大気質 ア 大気汚染の状況 (イ) 二酸化窒素	6-5	6-5	4 行目及び表 6.1.1-4	二酸化窒素は、仙台市環境基本計画において、定量目標が定められていることから、大気汚染常時監視測定局の年間測定結果に定量目標を追記した。
9	6.1.3. 土壌環境	(3) 土壌汚染	6-71	6-71	1～2 行目	p.6-72 の図 6.1.3-8 の内容を踏まえた説明文章に記述を見直した。
10		ウ 土地利用の履歴	6-72	6-72	図 6.1.3-8	土地利用分類図の年度を 1964 年から 1907 年に更新した。
11	6.1.4. 生物環境	(1) 植物	6-73	6-73	6～9 行目	文献調査による注目すべき種の科・種数を見直した。
12		イ 注目すべき植物の状況	6-74	6-74	21 行目	⑦として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
13			6-75～ 6-77	6-74～ 6-76	表 6.1.4-1(1)～(3)	
14			—	6-77	図 6.1.4-1	『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）による保全上重要な植物分布図を追加した。
15		(1) 植物 ウ 植生及び注目すべき植物 群落・重要な地域状況等	6-80～ 6-81	6-80～ 6-81	表 6.1.4-3 等	『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）に掲載されている植物の重要な地域を追加した。
16		(2) 動物	6-85	6-85	3 行目	文献調査による注目すべき種の科・種数を見直した。
17		イ 注目すべき動物の状況	6-86	6-86	12 行目	⑦として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
18			6-86	6-86	表 6.1.4-5	
19			6-87～ 6-88	6-87～ 6-88	表 6.1.4-6(1)～(2)	
20			6-89	6-89	表 6.1.4-7～表 6.1.4-9	
21			6-90～ 6-91	6-90～ 6-91	表 6.1.4-10(1)～(2)	

表 14-1(2) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
22	6.1.4. 生物環境	(2) 動物 ウ 注目すべき動物の生息 地状況等	6-94～ 6-104	6-94～ 6-104	図 6.1.4-6～図 6.1.4-16	出典先を最新の情報源である『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査 業務報告書』（2011 年 仙台市）に見直した。
23	6.2.2. 土地利用	(1) 現況土地利用、土地利用 の推移・動向	6-128	6-128	12～19 行目	土地利用分類図の年度を 1964 年から 1907 年に更新したため、その内 容を踏まえた説明文章に記述を見直した。
24		(2) 法令等に基づく用途区 分の状況等	6-128	6-128	2 行目	準備書公告後に仙台市より告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第 一種低層住居専用地域に変更されたため、記述を修正した。
25			6-130～ 6-131	6-130～ 6-131	図 6.2.2-2、凡例	
26	6.2.6. 環境の保 全等を目的とす る法令等	(1) 法令等に基づく指定・規制 イ 公害防止に係る指定地域	6-165	6-165	表 6.2.6-2 の騒音の欄	準備書公告後に仙台市より告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第 一種低層住居専用地域に変更されたため、記述を修正した。
27		(2) 環境基準 イ 環境基準 （キ）騒音に係る環境基準	6-180	6-180	図 6.2.6-5	準備書公告後に仙台市より告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地及び周辺の用途指定が市街化調整区 域から第一種低層住居専用地域等に変更されたため、着色を修正した。
28		(2) 環境基準 ウ 要請限度 （ア）自動車騒音の要請限度	6-182	6-182	図 6.2.6-6	
29		(2) 環境基準 ウ 要請限度 （イ）道路交通振動の要請限度	6-183	6-183	図 6.2.6-7	
30	7.2. 環境影響要素の抽出及び環境影響評価項 目の選定		7-3	7-3	表 7.2-1	項目選定に「残土」を追加した。
31			7-6	7-6	表 7.2-2(3)の廃棄物等の欄	「残土」を選定した理由を追記した。
32			7-8	7-8	表 7.2-3(2)の廃棄物等の欄	「残土」を選定しない理由を削除した。
33	8.2. 騒音		全般	全般	—	「デシベル」を「dB」に修正した。 騒音レベルの「L」を「 <i>L</i> 」（斜体）に修正した。 この 2 点については、以降、同様の修正をした。
34	8.2. 騒音 8.2.1. 現況調査	(5) 調査結果 ア 現況騒音 （ア）現地調査結果	8.2-5～ 8.2-6	8.2-5～ 8.2-6	8～14 行目 表 8.2-6(1) 表 8.2-6(2)	準備書公告後に告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第一種低層 住居専用地域に変更されたため、用途地域、あてはまる地域類型の記 載内容を修正した。また、地域類型に定められる環境基準、要請限度 の値等に修正した。
35	8.2. 騒音 8.2.2. 予測	(2) 工事による影響（重機の 稼働） カ 予測結果	8.2-23～ 8.2-25	8.2-23～ 8.2-25	表 8.2-17 図 8.2-8(1) 図 8.2-8(2)	工事着手後 22 ヶ月目の最大騒音レベル値及び出現地点の誤記を修正し た。

表 14-1(3) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
36	8.2. 騒音	(3) 工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響	8.2-28	8.2-28	11 行目	資材等の運搬に伴う騒音レベルの値が道路端から 6m の適正な距離減衰値ではなかったため、記述を修正した。それに伴い、合成値を修正した。
37	8.2.2. 予測				表 8.2-18	
38	8.2. 騒音 8.2.2. 予測	(4) 供用による影響（資材・製品・人等の運搬・輸送） カ 予測結果	8.2-32～ 8.2-33	8.2-32～ 8.2-33	表 8.2-22(1)～表 8.2-22(4)	準備書公告後に告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第一種低層住居専用地域に変更されたため、あてはまる地域類型に定められる環境基準、要請限度の値を修正した。
39		(5) 供用による影響（航空機騒音が住環境に及ぼす影響の程度） エ 予測方法	8.2-34	8.2-34	34 行目以降	隣接事業で実施している航空機騒音に対する予測結果資料を踏まえた定性的な予測を参考として行う旨を追記した。
40		(5) 供用による影響（航空機騒音が住環境に及ぼす影響の程度） オ 予測結果	8.2-35	8.2-35	30 行目以降	隣接事業で実施している航空機騒音に対する予測結果資料を踏まえた定性的な予測結果を追記した。
41	8.2. 騒音 8.2.4. 評価	(3) 工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響 ア 回避低減に係る評価 (イ) 評価結果	8.2-41	8.2-41	5 行目	「複合的な大気質への影響」を「複合的な騒音への影響」に修正した。
42	8.3. 振動		全般	全般	—	「デシベル」を「dB」に修正した。 騒音レベルの「L」を「 <i>L</i> 」（斜体）に修正した。 この 2 点については、以降、同様の修正をした。
43	8.3. 振動 8.3.1. 現況調査	(5) 調査結果 ア 現況振動	8.3-4～ 8.3-5	8.3-4～ 8.3-5	表 8.3-5(1) 表 8.3-5(2)	準備書作成後に告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第一種低層住居専用地域に変更されたため、用途地域、あてはまる地域類型を修正した。また、地域類型に定められる要請限度に修正した。
44	8.3. 振動	(3) 工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響	8.3-21	8.3-21	9 行目	資材等の運搬に伴う振動レベルの値が道路端から 6m の適正な距離減衰値ではなかったため、記述を修正した。それに伴い、合成値を修正した。また、七郷中学校の重機の稼働に伴う振動レベル値の転記ミスを修正した。
45	8.3.2. 予測				表 8.3-15	
46	8.3. 振動 8.3.2. 予測	(4) 供用による影響（資材・製品・人等の運搬・輸送） カ 予測結果	8.3-25～ 8.3-26	8.3-25～ 8.3-26	表 8.3-17(1) 表 8.3-17(2)	準備書作成後に告示された「仙台市告示第 219 号」（平成 24 年 5 月 18 日）により、事業予定地の用途指定が市街化調整区域から第一種低層住居専用地域に変更されたため、あてはまる地域類型に定められる要請限度に修正した。

表 14-1(4) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
47	8.4. 水質 8.4.1. 現地調査	(4) 調査期間等	8.4-3	8.4-3	表 8.4-4	注釈を追記した。
48	8.5. 地形・地質 8.5.1. 現況調査	(5) 調査結果 イ 現地調査 (イ) 東日本大震災における 地盤への影響	8.5-19	8.5-19	3 行目以降	地震前に自主的に実施していたボーリング調査結果と、それと同一地点ではないが、概ね同じ土地利用条件であって、地震後に実施した 250 m 程度離れた地点のボーリング調査結果を比較することで、地質の性状の変化に大きな差がないことを確認した旨、追記した。 また、「墳砂跡」を「噴砂跡」に修正した。
49	8.5. 地形・地質 8.5.3. 環境の保全 及び想像のための措置	(1) 工事による影響 イ 液状化現象	8.5-32	8.5-32	6 行目	工事着手前に実施する補足ボーリング調査の概要を資料編に掲載した旨を追記した。
50					9 行目	補足ボーリング調査の結果を踏まえた適切な液状化対策工法を選択することを追記した。
51	8.5. 地形・地質 8.5.4. 評価	(1) 工事による影響 ア 回避低減に係る評価 (イ) 評価結果 ②液状化現象	8.5-33	8.5-33	5 行目	補足ボーリング調査の結果を踏まえた適切な液状化対策工法を選択することを追記した。 また、保留地の販売にあたっては、土地購入者に対し、地質の状況を十分説明する旨、追加した。
52		(1) 工事による影響 イ 基準や目標との整合性 に係る評価 (イ) 評価結果 ②液状化現象	8.5-34	8.5-34	2 行目	補足ボーリング調査の結果を踏まえた適切な液状化対策工法を選択することを追記した。
53	8.6. 地盤沈下 8.6.2. 予測	(1) 工事による影響 オ 予測結果 (イ) 最終沈下量が計画盛土高 で終息する盛土厚（余盛り量）	8.6-10	8.6-10	11 行目 12 行目 16 行目 17 行目	盛土による盛土基面高、盛土天端高の数値前に「標高」を追記した。
54	8.6. 地盤沈下 8.6.3. 環境の保全 及び想像のための措置	(2) 存在による影響	8.6-13	8.6-13	環境の保全及び創造のた めの措置の内容	サウンディング試験の実施予定の時期を追記した。
55	8.7. 植物 8.7.1. 現況調査	(2) 調査方法 ア 既存資料調査	8.7-1	8.7-1	4 行目	「平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書」（2011 年 仙台市）を追記した。
56		(5) 調査結果 ア フロラ及び注目すべき種 (イ) 注目すべき種等の分 布、生育環境、個体数等	8.7-8	8.7-8	表 8.7-5	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
57			8.7-9	8.7-9	表 8.7-6	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
58			8.7-12	8.7-12	表 8.7-8	

表 14-1(5) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
59	8.7. 植物 8.7.2. 予測	(1) 工事による影響 カ 予測結果	8.7-22	8.7-22	表 8.7-12	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
60		(ア) フロラ及び注目すべき種 ② 注目すべき種	8.7-23	8.7-23	表 8.7-13(1) シロイヌナズナ、ヤハズエ ンドウの欄	シロイヌナズナ、ヤハズエンドウについては、一時期に地上から姿を消すなどの一年草の種の特性を踏まえ、工事による影響の有無について適切な文章表現に修正した。
61	8.7. 植物 8.7.3. 環境の保全 及び想像のための措置	(2) 存在による影響 イ 環境の保全及び創造の ための措置の検討結果	8.7-31	8.7-31	①郷土種や潜在自然植生 に該当する種の植栽の全 文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
62	8.7. 植物 8.7.4. 評価	(1) 工事による影響 イ 基準又は目標との整合 に係る評価 (ア) 評価方法	8.7-32	8.7-32	13 行目 16 行目	『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 整合性を図る法令に『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
63	8.8. 動物 8.8.1. 現況調査	(2) 調査方法 ア 既存資料調査	8.8-1	8.8-1	4 行目	「平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書」（2011 年 仙台市）を追記した。
64	8.8. 動物 8.8.1. 現況調査	(5) 調査結果 ア 既存資料調査	8.8-14～ 8.8-15	8.8-14～ 8.8-15	表 8.8-4(1)～(5)	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
65		(5) 調査結果 イ 現地調査（ア）哺乳類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-21	8.8-21	表 8.8-7	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
66			8.8-22	8.8-22	表 8.8-8	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
67		(5) 調査結果 イ 現地調査 (イ) 鳥類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-26	8.8-26	表 8.8-12	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
68			8.8-27	8.8-27	表 8.8-13	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。
69			8.8-29	8.8-29	表 8.8-14(4)	現地調査によるマガンの確認時期を訂正した。
70		(5) 調査結果 イ 現地調査 (ウ) 爬虫類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-44	8.8-44	表 8.8-16	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』（2011 年 仙台市）を追記した。

表 14-1(6) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
70	8.8. 動物 8.8.1. 現況調査	(5) 調査結果 イ 現地調査 (エ) 両生類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-46	8.8-46	表 8.8-18	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
71			8.8-47	8.8-47	表 8.8-19	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
72		(5) 調査結果 イ 現地調査 (オ) 昆虫類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-50	8.8-50	表 8.8-22	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
73			8.8-51	8.8-51	表 8.8-23	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
74	8.8. 動物 8.8.1. 現況調査	(5) 調査結果 イ 現地調査 (カ) 魚類 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-54	8.8-54	表 8.8-26	「Ⅵ」については、『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』に修正した。 「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
75		(5) 調査結果 イ 現地調査 (キ) 底生動物 ② 注目すべき種等の分布、 生息状況、個体数等	8.8-56	8.8-56	表 8.8-28	
76			8.8-57	8.8-57	表 8.8-29	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
77	8.8. 動物 8.8.2. 予測	(1) 工事による影響 カ 予測結果 (ア) ファウナ ②鳥類	8.8-61	8.8-61	3 段落目	事業予定地周辺の鳥類の生息環境の状況を踏まえ、一般鳥類に対する工事に影響を追記した。
78		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ① 哺乳類	8.8-63	8.8-63	表 8.8-31	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
					表 8.8-32	「切土・盛土・掘削等」の影響要因による注目すべき種への影響の程度について、直接的な影響の有無を明確にした表現に修正した。
79		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種	8.8-64	8.8-64	表 8.8-33	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』(2011 年 仙台市)を追記した。
80	② 鳥類	8.8-65～ 8.8-73	8.8-65～ 8.8-72	表 8.8-34(1)～(18)	「重機の稼働」「切土・盛土・掘削等」の影響要因による各種注目すべき種への影響の程度について、直接的な影響の有無を明確にした表現に修正した。	

表 14-1(7) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
81	8.8. 動物 8.8.2. 予測	(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ④ 両生類	8.8-74	8.8-73	表 8.8-35	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』 (2011 年 仙台市) を追記した。
82		(イ) 注目すべき種 ④ 両生類	8.8-74	8.8-73	表 8.8-36	「重機の稼働」「切土・盛土・掘削等」の影響要因による注目すべき種 への影響の程度について、直接的な影響の有無を明確にした表現に修 正した。
83		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種	8.8-75	8.8-74	表 8.8-37	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』 (2011 年 仙台市) を追記した。
84		(イ) 注目すべき種 ⑤ 昆虫類	8.8-75～ 8.8-78	8.8-74～ 8.8-76	表 8.8-38(1)～(6)	「重機の稼働」「切土・盛土・掘削等」の影響要因による各種注目すべ き種への影響の程度について、直接的な影響の有無を明確にした表現 に修正した。
85		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ⑥ 魚類	8.8-78	8.8-77	表 8.8-39	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』 (2011 年 仙台市) を追記した。
86		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ⑦ 底生動物	8.8-80	8.8-78	表 8.8-41	「Ⅶ」として、『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告書』 (2011 年 仙台市) を追記した。
87		(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種	8.8-82	8.8-81	表 8.8-43	注目すべき種の予測内容の見直しに伴い、修正した。
88		(2) 存在による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ② 鳥類	8.8-87～ 8.8-90	8.8-86～ 8.8-89	表 8.8-45(1)～(18)	変更後の土地の形状による各種注目すべき種への影響の程度につい て、直接的な影響の有無を明確にした表現に修正した。
89		(2) 存在による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ④ 両生類	8.8-91	8.8-90	表 8.8-46	変更後の土地の形状による各種注目すべき種への影響の程度につい て、直接的な影響の有無を明確にした表現に修正した。
90		(2) 存在による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種 ⑤ 昆虫類	8.8-91～ 8.8-92	8.8-90～ 8.8-91	表 8.8-47(1)～(6)	変更後の土地の形状による各種注目すべき種への影響の程度につい て、直接的な影響の有無を明確にした表現に修正した。

表 14-1(8) 準備書から修正した事項

No.	項目		準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
91	8.8. 動物 8.8.2. 予測	(2) 存在による影響 カ 予測結果 (イ) 注目すべき種	8.8-95	8.8-94	表 8.8-50	注目すべき種の予測内容の見直しに伴い、修正した。
92	8.8. 動物 8.8.3. 環境の保全 及び想像のための措置	(2) 存在による影響 イ 環境の保全及び創造の ための措置の検討結果 (ア)陸上動物に対する措置	8.8-98	8.8-98	①郷土種や潜在自然植生 に該当する種の植栽の全 文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
93	8.8. 動物 8.8.4. 評価	(1) 工事による影響 イ 基準又は目標との整合 に係る評価 (ア) 評価方法	8.8-100	8.8-100	16 行目 18 行目	『平成 15 年度自然環境基礎調査報告書』を『平成 15 年度自然環境に 関する基礎調査業務報告書』に修正した。 整合性を図る法令に『平成 22 年度自然環境に関する基礎調査業務報告 書』（2011 年 仙台市）を追記した。
94	8.9. 生態系 8.9.3. 環境の保全 及び想像のための措置	(2) 存在による影響 イ 環境の保全及び創造の ための措置の検討結果 (ア)陸上動物に対する措置	8.9-24	8.9-24	①郷土種や潜在自然植生 に該当する種の植栽の全 文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
95	8.11. 廃棄物等 8.11.2. 予測	(1) 工事による影響 カ 予測結果 (イ) 残土	8.11-7	8.11-7	表 8.11-13	残土発生量の計算過程を示した表中を「1.6.8.造成計画」の表現と統一 させた。
96	10. 対象事業に係る環境影響の総合的な評価		10-2	10-2	表 10-1 大気質予測結果 の欄の下部	表下部に現地調査で測定した復興関連車両を含めた将来交通量を用い て工事中の予測を行った旨、追記した。
97			10-10	10-10	表 10-6 騒音現況の欄 ア 騒音レベル (ア) 現 地調査結果 3 段落目	p.8.2-5 の修正に伴い、事業予定地の用途指定（第一種低層住居専用地 域）にあてはまる記述に修正した。
98					表 10-6 騒音予測結果の 欄 イ 重機の稼働 2 行目	p.8.2-23 の修正に伴い、事業予定地敷地境界付近の重機の稼働に伴う予 測結果を修正した。
99					表 10-6 騒音予測結果の 欄 ウ 工事に係る資材等 の運搬及び重機の稼働によ る複合的な影響 8 行目	p.8.2-28 の修正に伴い、工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による 複合的な影響の予測結果を修正した。
100					表 10-6 騒音予測結果の 欄の下部	表下部に現地調査で測定した復興関連車両を含めた将来交通量を用い て工事中の予測を行った旨、追記した。

表 14-1(9) 準備書から修正した事項

No.	項目	準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
101	10. 対象事業に係る環境影響の総合的な評価	10-14	10-14	表 10-8 振動予測結果の欄 ウ 工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響 5行目	p.8.3-21 の修正に伴い、工事に係る資材等の運搬及び重機の稼働による複合的な影響の予測結果を修正した。
102				表 10-8 振動予測結果の欄の下部	表下部に現地調査で測定した復興関連車両を含めた将来交通量を用いて工事中の予測を行った旨、追記した。
103		10-21	10-21	表 10-11 地形・地質環境保全のための措置の欄	補足ボーリング調査の結果を踏まえた適切な液状化対策工法を選択することを追記した。
104				表 10-11 地形・地質評価の欄	液状化現象の評価の欄に補足ボーリング調査の結果を踏まえた適切な液状化対策工法を選択することを追記した。 また、保留地の販売にあたっては、土地購入者に対し、地質の状況を十分説明する旨、追加した。
105		10-24	10-24	表 10-13 地盤沈下予測結果の欄 5、7、10、12行目	p.8.6-10 の修正に伴い、盛土による盛土基面高、盛土天端高の数値前に「標高」を追記した。
106		10-27	10-27	表 10-14 地盤沈下環境保全のための措置の欄	サウンディング試験の実施予定の時期を追記した。
107		10-28	10-28	表 10-15 植物予測結果の欄 (イ) 注目すべき種 6行目	p.8.7-23 の修正に伴い、注目すべき種に対する予測結果を修正した。
108		10-31	10-31	表 10-15 植物環境の保全のための措置 ア 郷土種や潜在自然植生に該当する種の植栽の全文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
109		10-32 10-34	10-32 10-34	表 10-17、18 動物予測結果の欄	予測結果の見直しに伴い、内容を差し替えた。
110		10-37	10-37	表 10-19 動物環境の保全のための措置 ア 陸上動物に対する措置 (ア) 郷土種や潜在自然植生に該当する種の植栽の全文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
111		10-40 10-42	10-40 10-42	表 10-21、22 生態系予測結果の欄	予測結果の見直しに伴い、内容を差し替えた。

表 14-1(10) 準備書から修正した事項

No.	項目	準備書 ページ	評価書 ページ	行・図表	修正・追加事項
112		10-43	10-43	表 10-22 生態系環境の 保全のための措置 ア 陸 上動物に対する措置 (ア) 郷土種や潜在自然 植生に該当する種の植栽 の全文	今後、事業を実施していく上で具体的な対応を補足した。
113	11. 事後調査計画 11.1. 事後調査内容	11-1	11-1	3 段落目	事後調査の調査期間・頻度等は、現段階における想定であり、事業の 進捗や状況に応じて、調査期間については前後、頻度については増減 する可能性がある旨を追記した。
114		11-2	11-2	表 11.1-1	仙台市環境影響評価技術指針をもとに、区画整理組合の解散直前まで 事後調査を実施する方針で、調査項目、調査方法、調査地域等、調査 期間・頻度等を見直した。
115	11. 事後調査計画	11-3	11-3	表 11.1-2	仙台市環境影響評価技術指針をもとに、区画整理組合の解散直前まで 事後調査を実施する方針で、調査期間・頻度等を見直した。
116	11.1. 事後調査内容	11-4	11-4	表 11.1-3	
117		11-6	11-6	表 11.1-4～6	
118		11-8	11-8	表 11.1-7～9	
119		11-10	11-10	表 11.1-10～11	
120		11-6	11-6	表 11.1-5～6	補足ボーリング調査時期、サウンディング試験実施時期を追加した。
121	11. 事後調査計画	11-12	11-12	2 段落目、3 段落目	仙台市環境影響評価技術指針をもとに、区画整理組合の解散直前まで 事後調査を実施する方針で、調査期間・頻度等を見直した。
122	11.2. 事後調査スケジュール	11-13	11-13	表 11.2-1	
123	11. 事後調査計画 11.3. 事後調査報告書の提出時期	11-12	11-12	3 段落目	供用時の事後調査報告書を提出する時期を追記した。
124	資料編	資 2.5-61	資 2.5-61	図 2.5-2	「墳砂」を「噴砂」に修正した。
125	2.5. 地形・地質	資 2.5-62	資 2.5-62	6 行目	
126	2.5.3. 東日本大震災における地盤への影響	—	資 2.5-66	図	追加ボーリング調査の手法に関する考え方を追加した。

※要約書の該当箇所も同様の修正・追加を行った。